高等学校 令和7年度（１学年）教科　　芸術　　科目 音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　Ⅰ　組

使用教科書：（「Tutti ＋」教育出版　　）

教科　芸術　　の目標

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身につける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・高校の音楽学習への意欲を養う。また、自分にとっての音楽の存在を再認識するとともに様々な音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする態度を養う。 ・曲に対するイメージを豊かにしたり、共感したりそながら歌唱表現を創意工夫する手立てを学ぶ。	○オリエンテーション ○歌唱 校歌 二部合唱	○			○	【知識】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技能】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技術、他者との調和を意識して歌う技術を身につけ、歌唱で表現している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	・他者との調和を意識したり、アンサンブルの特徴を生かしたりしながら、自分たちのイメージをもって表現を創意工夫する。体の様々な部位を使って音色を工夫したり、構成を工夫したりしながら表したいイメージをもって演奏する。	○リズムアンサンブル		○	○	○	【知識】音の重なりや連なりによる響きの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【思考・判断・表現】リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 【主体的に取り組む態度】音色や構成を工夫しながらイメージをもって演奏することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	・鍵盤楽器の奏法を身につけるとともに、技術の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。	○鍵盤楽器		○			【知識】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技能】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 奏法を身につけることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	・オペラやミュージカルなど総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかを考える。	○鑑賞				○	【知識】曲想と音楽の構造や歌詞、文科・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽との構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、わが国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考えて聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】総合芸術において物語と音楽が関わり合いながら、どのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	・ギターの奏法を身につけるとともに、技術の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。	○クラシックギター アル・アイレ奏法 アポヤンド奏法 コード		○			【知識】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技能】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 【主体的に学習に取り組む態度】奏法を身につけることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	・混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して唄う。また、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫する。	○合唱 混声四部合唱	○			○	【知識】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技能】他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身につけ、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えて聴き、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	・オーケストラの様々な楽器の音色や響き、リズム、旋律の展開がもたらす表現上の効果を理解し、そのよさや美しさを自ら味わって聴く。	○鑑賞				○	【知識】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 オーケストラの様々な楽器の音色や響き、またリズムに乗せた旋律の展や表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
3学期	・１年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実践する。音楽Ⅰで学習した教材から選択し、グループでアンサンブルをしたりしながら、音楽活動の喜びや楽しさを味わう。 ・１年間の音楽Ⅰの学習を経て、音楽に対する考え方がどのように変容したかを考える。	○自由アンサンブル	○	○	○	○	【知識】音楽Ⅰの１年間の学習における表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【技能】音楽Ⅰの１年間の学習における技能に関する諸事項を身につけ、歌唱や器楽、創作で表している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱や器楽、創作表現としてどのように表すかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】１年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅰの１年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心をもち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	・イタリア語とドイツ語の言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。	○歌唱 イタリア歌曲 ドイツ歌曲	○			○	【知識】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えて聴き、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6 合計 70

高等学校 令和７年度（１学年用）教科　　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　Ⅰ　組

使用教科書：（ 高校生の美術１　日本文教出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け，意図に応じて表現方法を創意工夫し，表している。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考えるとともに，主題を生成し発想や構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	■オリエンテーション 年間の美術の授業内容と身に付けるべき内容の理解をする。	●オリエンテーション ・年間授業計画 ・取り組み方 ・評価方法 ・画材、道具の説明					【学びに向かう力、人間性等】…説明を意欲的に聞いているか				1
	■デザイン デザインの機能や効果、造形的な特徴などを理解する。発想や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。また資料から自らの発想に繋がるように鑑賞するジャンルの幅を広げる。	●『折りたたみカード』 ・昨年度までの実物参考作品を鑑賞 ・手順説明 ・発想方法と下描き ・作品の質の上げ方		○		○	【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	10
	■絵画（デッサン） 構図について理解する。画材の特徴や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。またお互いの作品を鑑賞し合うことで、感性と人間理解につなげる。	●『リンゴの模型と角材』 ・参考作品を鑑賞 ・手順説明（端末利用） ・発想方法と下描き ・作品の質の上げ方	○			○	【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	10
	■鑑賞 任意の美術館に行き、作品を鑑賞するとともに、美術館そのものの構造や特徴を理解する。	●『美術館レポート』 ・美術館とギャラリーの違い ・表紙の作り方 A4ルーズリーフ等				○	【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	5
2学期	■デザイン デザインの機能や効果、造形的な特徴などを理解する。発想や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。また資料から自らの発想に繋がるように鑑賞するジャンルの幅を広げる。	●『文京Doodle』 ・課題プリントを見ながらGoogleを参考とした課題説明 ・発想方法と下描き ・仕上げまでの手順確認		○		○	【知識及び技能】…機能性と視覚効果について理解し、高いデザインになっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	10
	■彫刻 主題の設定や、表現性について理解する。画材の特徴や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。またお互いの作品を鑑賞し合うことで、感性と人間理解につなげる。	●『私の大切なワンシーン』 ・前年度までの参考作品を鑑賞 ・手順説明（端末利用） ・発想方法と下描き ・ワークシート	○			○	【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	16
3学期	■デザイン デザインの機能や効果、造形的な特徴などを理解する。発想や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。また資料から自らの発想に繋がるように鑑賞するジャンルの幅を広げる。	●『架空文化祭企画書』 ・参考作品を鑑賞 ・手順説明（端末利用） ・画材説明 ・発想方法と下描き ・質のあげ方		○			【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	10
	■鑑賞 アニメーションの歴史を理解する。アニメーションを構成する要素を理解し、鑑賞ポイントについて理解する。	●『日本のアニメーション』 ・アニメーションの歴史 ・アニメーションの構成 ・ディスカッション			○	○	【知識及び技能】…歴史や特徴、構成要素を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】…鑑賞したポイントを自分なりの感想を持つことが出来るか。	○	○		8
											合計 70

高等学校 令和7年度（３学年）教科　　芸術　　科目 音楽研究

教　科：芸術　　科　目：音楽研究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　I　組

使用教科書：（「Mousa1」教育芸術社　　）

教科　芸術　　の目標

【知識及び技能】　音楽教育に必要な要素ついて理解するとともに、意図に基づいいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　音楽教育に必要な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽教育に必要な豊かな情操を培う。

科目　音楽研究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・音楽的基礎・基本能力を高め、自分の演奏にいかすことができる。 ・音楽教育等に必要な音楽的基礎・基本能力や実技技能の習得をめざす。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもつことができる。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表すことができる。	・音楽活動に関心をもち、主体的に音楽表現の学習や演奏活動に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	音楽を形作る素要素の基礎基本を理解する	○オリエンテーション ○音の長さ ○音の高さ ○記号		○			・音楽系進路や音楽教育等の実践に必要な音楽的基礎・基本能力の定着（ソルフェージュ）	○	○	○	15
	器楽演奏に必要なリズムを正確に体感しながら演奏する能力を育む。	○リズム打ち ○器楽（独奏、弾き歌い） ○発表会	○	○	○		・音楽系進路や音楽教育等の実践に役立つ実技練習（楽器演奏・歌唱・弾き歌い）	○	○	○	15
2学期	音楽を形作る素要素の基礎基本を理解する	○音程 ○音階 ○和音	○	○	○		・音楽系進路に向けた基礎的な音楽理論・コード伴奏を習得できたか	○	○	○	15
	表現に気を付けながら、演奏することが出来る	○リズム ○器楽（独奏、弾き歌い）					・音楽系進路や音楽教育等の実践に役立つ実技練習（楽器演奏・歌唱・弾き歌い）	○	○	○	15
3学期	緊張感のある雰囲気の中、表現意図をもった演奏をする。	○リハーサル ○発表会	○	○	○	○	・人前での緊張感のある中、正確なリズムで表現意図をもった演奏をすることができる。 ・他者の演奏を楽しみ、批評することができる。	○	○	○	10
											合計 70

高等学校 令和７年度（３学年用）教科　　芸術　　科目 美術研究

教　科：　芸術　　科　目：　美術研究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　I　組

使用教科書：（ 高校生の美術１　日本文教出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　美術研究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け，意図に応じて表現方法を創意工夫し，表している。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考えるとともに，主題を生成し発想や構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	■オリエンテーション 年間の美術の授業内容と身に付けるべき内容の理解をする。	●オリエンテーション ・年間授業計画 ・取り組み方 ・評価方法 ・画材、道具の説明					【学びに向かう力、人間性等】…説明を意欲的に聞いているか				1
	■絵画（デッサン） 構図について理解する。画材の特徴や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。またお互いの作品を鑑賞し合うことで、感性と人間理解につなげる。	●『リンゴの模型と角材』 ・参考作品を鑑賞 ・手順説明（端末利用） ・発想方法と下描き ・作品の質の上げ方		○		○	【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	10
	■絵画 構図について理解する。画材の特徴や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。またお互いの作品を鑑賞し合うことで、感性と人間理解につなげる。	●『イメージ構成』 ・参考作品を鑑賞 ・手順説明（端末利用） ・発想方法と下描き ・作品の質の上げ方	○			○	【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	10
	■鑑賞 任意の美術館に行き、作品を鑑賞するとともに、美術館そのものの構造や特徴を理解する。	●『ギャラリーレポート』 ・美術館とギャラリーの違い ・表紙の作り方 A4ルーズリーフ等				○	【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	5
2学期	■デザイン デザインの機能や効果、造形的な特徴などを理解する。発想や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。また資料から自らの発想に繋がるように鑑賞するジャンルの幅を広げる。	●『ツリーハウス』 ・参考作品を鑑賞 ・手順説明（端末利用） ・発想方法と下描き ・作品の質の上げ方		○		○	【知識及び技能】…機能性と視覚効果について理解し、高いデザインになっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	10
	■絵画/デザイン 主題の設定や、表現性について理解する。画材の特徴や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。またお互いの作品を鑑賞し合うことで、感性と人間理解につなげる。	●『卒業制作』 ・ワークシート ・下描き ・ディスカッション	○			○	【知識及び技能】…構図や画材の特徴を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	16
3学期	■デザイン デザインの機能や効果、造形的な特徴などを理解する。発想や制作の進め方、仕上げについて理解する。 ■鑑賞 様々な参考作品を鑑賞する。また資料から自らの発想に繋がるように鑑賞するジャンルの幅を広げる。	●『ポートフォリオ』 ・参考作品を鑑賞 ・手順説明（端末利用） ・台割 ・質のあげ方		○			【知識及び技能】…特徴や目的を理解している作品になっているか。 【思考力、判断力、表現力等】…オリジナリティのある表現になっているか。伝わりやすい構成になっているか 【学びに向かう力、人間性等】…丁寧な作業で作品が仕上げられているか	○	○	○	10
	■鑑賞 アニメーションの歴史を理解する。アニメーションを構成する要素を理解し、鑑賞ポイントについて理解する。	●『日本のアニメーション』 ・アニメーションの歴史 ・アニメーションの構成 ・ディスカッション			○	○	【知識及び技能】…歴史や特徴、構成要素を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】…鑑賞したポイントを自分なりの感想を持つことが出来るか。	○	○		8
											合計 70